

静脈 / 指紋認証

**カードや暗証番号を使わない手ぶら取引を実現。
署名、指紋、静脈の各認証の組合せによる高い認証精度**



コンパクトな指静脈認証

より使いやすくどこでも利用できるように
「小型・高速・快適」を目指したソリューション。

指紋と静脈のハイブリッド型 認証デバイスもラインナップ

指静脈と指紋を、それぞれ識別することで、
更に生体認証の安全性を高められます。

署名認証（Cyber-SIGN）、静脈、指紋認証による「2要素認証」を推奨。

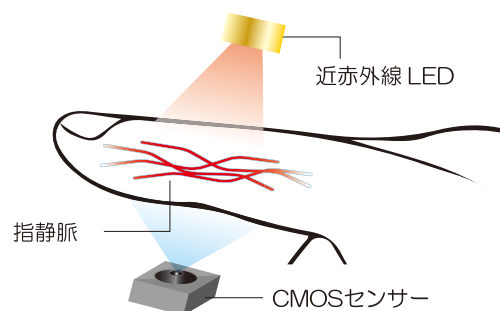
タッチパネルの普及により、「署名」という動作の認証と指静脈認証は、ともに指1本で認証可能なユニークで
使い勝手の良い、手ぶら認証技術として注目されています。

指静脈認証技術

指静脈認証技術は、LED による近赤外光を指静脈にあて、体内で拡散した
光を CMOS センサーで効率的に撮像する反射散乱方式。

撮像した画像からすばやく正確に静脈情報を抽出し、デバイスに置いた
指位置の補正を同時に行うことで、高速な認証を実現。

認証方式は、1 対 N のサーバー内認証や、1 対 1 の機器内での認証に対応。
(Windows USB 接続)

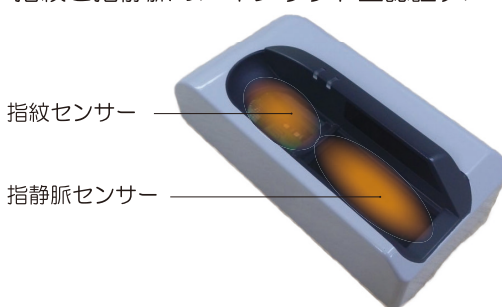


様々な機器に組込んで使用できます。

国内外、多様な導入実績があります。

ハイブリッド型認証デバイスでは、国内初の導入実績があります。

指紋と指静脈のハイブリッド型認証デバイス



例：電子記帳台

導入事例：海外ATM

